

平成30年度施設・事業所関係事業報告

《 はじめに 》

今年度は、身体拘束廃止の取組について指導を受ける事になり、介護報酬減算を課せられる事態となってしまいました。このような事態になってしまった背景には、職員一人一人の人権に対する意識の低下の表れであり、高齢者人権擁護について深く考えを見つめ直す機会となりました。安易な拘束や、身体拘束を行う際の取り決めや、拘束以外の方法が無いのか等十分に検討していなかったなど問題が浮き彫りになり、一つ一つ問題点を解決すべく話し合い対応してまいりました。

また、看護職員の配置が指定基準を下回る事態となり、介護報酬が減額される事態となってしまいました。介護サービスに欠かせない人材の確保が大変大きな問題となっており、新規採用も思うようにいかない近年の状況に加え、職員の定着にもさらに力を注いでいく必要があります。

施設運営においては、恒例のイベントである納涼祭については、職員が不足する中、十分な準備ができない事と当日の運営を考え中止といたしました。敬老会については、職員、関係者の協力を得て成功裏に終えることができました。毎月2回開催される傾聴ボランティアについては、傾聴ボランティアの方々の協力により、利用者との対話を重視していただき、大変癒され落ち着いた入所生活をされており感謝を申し上げます。また、例年インフルエンザ・ノロウイルスの流行が危惧される冬季においても、事前の予防接種の実施、職員の細部にわたる注意など感染予防対策に万全を尽くし、嘱託医の適切な指導のもと、感染者ゼロと無事乗り切ることができました。

平成30年度の重要目標として掲げた事業のうち、主な事業の成果については次のとおりであります。

「個別ケア推進事業」については、①24時間シート（利用者状況データ）の効率的な活用、②入居者の実態に即したユニット単位の弾力的な勤務シフトの継続、③職種間の連携を軸にした個別ケア検討会の開催などを通し、入居者の意思を尊重した個別ケアの推進を図りました。

「居住環境・設備機器等整備事業」については、①トップライトの修繕②特殊浴槽の修繕③水設備・給湯設備、空調設備等の点検補修など利用者の健康保持と安全の確保及び快適な環境づくりに努めました。

「職員研修事業」については、関係機関が開催した各種研修会への出席や各種委員会単位での施設内研修、更に外部講師を招聘してのキャリアパス研修、介護レベルアップ研修を実施し、個別ケア推進事業にも影響を与えるなど介護職員をはじめ関係職員のスキルアップや意識改革等に努めました。

今後とも、自然環境や快適な居住環境の維持に配慮しつつ、利用者が安全で安心して毎日を過ごすことができるよう、より一層のケア体制の充実を図っていくこととします。

1 特別養護老人ホーム「きぬ川苑」(介護老人福祉施設)

当施設の平成30年度入居・退居状況は、新規入居者は13名、退居者は12名で、退居の事由は死亡退居7名、長期入院による退居4名、老健入所1名となっています。年度末における入居者の平均要介護度は4.30で、全国平均3.94に対し0.36ポイント上回っています。また、入居者の平均年齢は87.95歳で前年度より0.25歳低くなっています。年間の入院者数は15名で、延べ入院日数は662日となっています。これは前年度と比較して入院者数で11名の増、延べ入院日数では547日の増となっています。

★入居状況

《1》年齢別入居者数(平成31年3月末現在) 単位:人()内前年数

年代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代	合計
男性	1(1)	2(2)	4(3)	3(2)	0(0)	10(8)
女性	0(0)	3(3)	19(18)	14(18)	2(0)	38(39)
合計	1(1)	5(5)	23(21)	17(20)	2(0)	48(47)

《2》介護度状況(平成31年3月末現在) 単位:人()内前年数

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男性	0(0)	1(0)	1(2)	2(3)	6(3)	10(8)
女性	0(0)	0(0)	7(6)	11(14)	20(19)	38(39)
合計	0(0)	1(0)	8(8)	13(17)	26(22)	48(47)

★健康管理(平成30年4月1日～31年3月31日)

①入院人数 15名(延べ662日)

前年度 4名(延べ115日)

②退居者人数 12名(死亡退居7名、長期入院退居4名、老健入所1名)

前年度 19名(死亡退居17名、長期入院退居2名)

③受診状況

ア)定期的な受診もしくは処方を受けている方

47名(嘱託医師の所属医療機関や協力医療機関での受診)

前年度 48名

イ)救急車による搬送

3件 前年度 (6件【ショート利用者含む】)

④深夜帯における体調急変者の対応

看護職員の緊急出勤 5回 (前年度 3回)

⑤常時、医療的なケアを必要とする方の状況

・胃ろう1名(2)・酸素療法0名(3)・バルーン留置4名(2)・膀胱洗浄1名(2)

★介護サービス提供の状況(平成31年3月末現在)

(1)食事状況

①食事形態(入居者個々人の経口摂取しやすい形状で提供)単位:人 ()内前年度数

主食	常食	軟飯	全 粥	パン	ソフト食	ミキサー他	計
人数	5 (3)	5 (6)	19 (22)	0 (0)	15 (14)	3 (0)	47 (45)
副食	常 菜	一口大	キザミ	みじん	ソフト食	ミキサー	計
人数	3 (1)	5 (6)	13 (12)	7 (12)	14 (16)	0 (3)	47 (45)

※ 別掲 ・胃ろう(流動食)1名(2名)

栄養等補助として、日常摂取に必要なエネルギーたんぱく質等を補う工夫として、下記の物を提供しています。

濃厚流動食 6名(4)

咀嚼嚥下困難者対応食品 20名(17)

褥瘡改善及び予防補助食品 7名(14)

②食事摂取状況

全介助摂取 21名(15)

一部介助摂取 4名(16)

自力摂取 22名(14)(見守りが必要な者を含む)

(2)排泄状況

排泄に関しては、オムツ使用者を含め何らかの介助を必要とする方がほとんどであるため、各ユニットから選任した委員による排泄委員会を中心に、入居者の爽やかな生活向上への取り組みを進めています。オムツの不快感を無くし、尿路感染等感染症の予防にも繋がっていきますので、今後においてもプライバシーに配慮し、入居者が快く過ごせるよう努めていくこととします。

(3)入浴状況

入浴日は、毎日ユニットごとに区分して入浴しています。なお、入浴は週2回を原則としていますが、利用者によっては必要に応じて回数を増やすなど臨機応変に対応してきました。

また、入浴日を調整し外出やレクリエーションなどを通して、楽しく過ごせるよう工夫してきました。

浴槽の使用状況

●個人浴槽 18名(18)

●機械浴槽 30名(29)

利用者の状態に合わせた入浴方法をとっていますが、入居者のプライバシーを考慮し、個人浴槽での個別ケア対応となっています。

2 特別養護老人ホーム「きぬ川苑」(地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護施設)

当施設の平成30年度入居・退居状況は、新規入居者14名、退居者13名で、退居の事由は死亡退去11名、家族の介護方針の変更が1名。長期入院等による退居者1名で、年度末における入居者の平均要介護度は3.9で前年度より0.2ポイント低、また、平均年齢は88.3歳で前年度より1.9歳低くなっています。

★入居状況

《1》年齢別入居者数(平成31年3月末現在) 単位:人 ()内前年度数

年代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代	合計
男性	1 (1)	1 (1)	2 (2)	3 (4)	0 (0)	7 (8)
女性	0 (0)	1 (0)	5 (4)	6 (7)	1 (1)	13 (12)
合計	1 (1)	2 (1)	7 (6)	9 (11)	1 (1)	20 (20)

《2》介護度状況(平成31年3月末現在) 単位:人 ()内前年度数

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男性	0 (0)	1 (1)	3 (2)	3 (3)	0 (2)	7 (8)
女性	1 (0)	2 (1)	4 (3)	3 (6)	3 (2)	13 (12)
合計	1 (0)	3 (2)	7 (5)	6 (9)	3 (4)	20 (20)

★健康管理(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

①入院人数 7名(延べ166日)

前年度 0名(延べ0日)

②退居者人数 6名(死亡退居5名、長期入院退居1名)

前年度 13名(死亡退居11名、長期入院退居1名、その他1名)

③受診状況

ア) 定期的な受診もしくは処方を受けている方 20名(11)

イ) 救急車による搬送 1件(1)

④常時、医療的なケアを必要とする方 1名(1)

バルーン留置

★介護サービス提供の状況(平成31年3月末現在)

(1) 食事状況

食事に関しては、家庭的な雰囲気を醸し出すため、ユニット内のキッチンで毎食炊飯し、みそ汁を作っています。

①食事形態(入居者個々人の経口摂取しやすい形状で提供) 単位：人 ()内

主食	常食	軟飯	全粥	パン	ソフト食	ミキサー他	計
人数	1 (2)	10 (9)	8 (6)	0 (0)	0 (2)	1 (1)	20 (20)
副食	常菜	一口大	キザミ	みじん	ソフト食	ミキサー	計
人数	4 (4)	3 (3)	6 (6)	6 (4)	0 (2)	1 (1)	20 (20)

栄養等補助として、日常摂取に必要なエネルギーたんぱく質等を補う工夫として、下記の物を提供しています。

濃厚流動食 5名 (1)

咀嚼嚥下困難者対応食品 3名 (9)

褥瘡改善及び予防補助食品 2名 (4)

・食事摂取状況

全介助摂取 1名 (7)

一部介助摂取 3名 (3)

自力摂取 16名 (10) (見守りが必要な者を含む)

(2) 排泄状況

排泄に関しては、個々人の排泄パターンを把握し、そのデータを基にその人に合わせた排泄用品を選定し、快適な生活の維持に努めています。

(3) 入浴状況

入浴は、週2回を原則としていますが、入居者によっては要望も含め必要に応じて回数を増やすなど臨機に対応しています。

また、浴槽は、個人浴槽と機械浴槽の形態を有し、入居者の状態に合わせた入浴方法をとっており、従前使用していた入浴用品の持ち込みも自由としています。

浴槽の使用状況

●個人浴層 15名 (15)

●機械浴槽 5名 (5)

入居施設で共通して言えることは、多様化する入居者の態様や重度化に伴い、介護に要する時間や手間も増え、職員の介護負担も過重となってきています。

介護サービスの提供については、個別の栄養ケア・マネジメント及び個別の機能訓練を実施し、QOL (生活の質) の向上に努めました。また、インフルエンザ等感染症の予防対策としては、毎月開催している感染症対策委員会、褥瘡予防対策委員会及び衛生委員会の合同委員会において情報を共有し、入居者及び職員の感染予防に努めてきました。

身体拘束適正化に関する指針を見直し、身体拘束廃止に向けた取り組みをすすめ、高齢者人権擁護に取り組みました。

3 ショートステイ「きぬ川苑」(短期入所生活介護)

自宅で介護している家族が急用等で出かけたり、居ても一時的に介護できない場合など一定期間を預かり、日常生活の世話をを行っている家族の身体的、精神的軽減を図ることとしています。

平成29年度12月より職員の配置が介護保険法上の配置基準は満たしているものの、併設の特養と合わせ、ご利用者に対し十分な介護サービスを提供することが困難な状況を招いてしまうおそれから事業を一時休止しています。

来年度中の早期再開を目指し、職員の処遇改善等を含め人員不足を解消し、事業再開に向けて努めてまいります。

◆「きぬ川苑」年間行事

実施月	行 事 名	行 事 内 容
4 月	お花見 (桜見物)	ユニットごとに、お弁当持参でお花見を楽しんだ
5 月	つつじ見物	近隣の公園等に行き、楽しい時間を過ごした
6 月	あじさいの鑑賞	ユニットごとに、近隣の名所に行き、花を楽しんだ
7 月	七夕まつり 納涼祭	短冊に思い思いの願いを託した ボランティアの演芸、模擬店での買い物を楽しむ
8 月	夏を楽しむ祭	デザート作り、すいか割りで楽しいひとときを過ごした
9 月	敬老会	童謡歌手による歌を楽しんだ
10 月	紅葉見物	ユニット単位で、近隣の景勝地へ随時出かけた
11 月	芋煮会	作りたてを食して季節感を味わった
年 間	誕生会	毎月の行事として、簡単な食事を作ったりゲームをして、誕生者を祝う。
随 時	食事会・買い物・ドライブ	遠出(宇都宮市・矢板市方面)と共に、外食(自分の好きな物)や買い物を楽しむ。

4 デイサービスセンター「きぬ川愛泉」(通所介護事業)

当センターの利用者数は、平成18年度以降様々な要因により減少傾向にありましたが、平成30年度の延べ利用者数は、4,333名で前年に比較し1,164名の減となりました。デイサービスの事業所数が高止まりの状況の中、より効率的な運営をするため営業日の変更や利用定員の見直しを行いましたが、年間をとおしての新規契約者は11名にとどまり、年間平均で見ると稼働率は47%台となっており、体調不良や天候などの理由によるキャンセル、送迎範囲の地域的特性を考慮しても低くなっており、利用者の希望を取り入れた利用日の変更積極的に取り組むことが稼働率向上には欠かせません。併せて、施設の特長の周知とともに提供するサービスの質の向上を図りつつ、関係事業所との連携を密にして新規契約者の確保に努めることとします。

★利用状況

①年代別利用登録者数(平成31年3月末現在) (単位:人)

年代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代	合計
男性	0	0	2	4	0	0	6
女性	0	2	8	28	17	3	58
合計	0	2	10	32	17	3	64

②登録者の介護度状況(平成31年3月末現在) (単位:人)

介護度	事業対象者	要支援	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
男性	1	1	2	2	1	0	0	7
女性	0	3	22	21	5	4	2	57
合計	1	4	24	23	6	4	2	64

③月別利用人数(平成30年4月~平成31年3月) (単位:人・日)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
利用人員	348	397	362	377	384	358	406
稼働日数	21	23	21	22	23	20	23
一日平均	16.5	17.2	17.2	17.1	16.6	17.9	17.6

月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用人員	391	353	320	314	323	4,333
稼働日数	22	20	20	20	21	256
一日平均	17.7	17.6	16.0	15.7	15.3	16.9

★主な行事（平成30年4月～平成31年3月）

実施月	行事名	行事内容
4月	お花見	近隣公園や帰路送迎時に桜見物
5月	ボランティア来苑	「よさこい」による踊りを楽しむ
6月	創作活動	あじさい花の切り絵を貼って楽しむ
〃	ドライブ	近隣のドライブを実施
7月	七夕祭り	短冊に願い事を託し、飾り付けをした（1週間）
〃	ボランティア来苑	「日光きりふりの会」によるオカリナ演奏
〃	納涼祭	お囃子、踊り、模擬店
8月	すいか割り	レクリエーションとして
〃	ボランティア来苑	「日光東中学校」ボランティア学習
9月	ボランティア来苑	「日光東中学校」による体験活動
〃	ボランティア来苑	「よさこい」による踊りを楽しむ
9月	入居者健康診断	
10月	ミニ運動会	ユニットでの玉入れ、物送り、パン釣り競争等
11月	紅葉狩り	ドライブ
	ボランティア来苑	「きりふりの風」によるオカリナ演奏
	ボランティア来苑	「豊岡中学校」による体験活動、マイチャレンジ
12月	クリスマス会	サンタクロス、クリスマスソングと手作りマスコットのプレゼント
	ボランティア来苑	「藤原中学校吹奏楽部」による演奏
1月	どんど焼き	焼いた繭玉や芋をおやつとしていただいた
	新年の書き初め	抱負を込めて書いて、ホールに飾る、福笑い
2月	節分会	鬼面を染めたり、豆まき・鬼退治で楽しむ
3月	ボランティア来苑	「きりふりの風」によるオカリナ演奏

5 ケアプランセンター「愛泉」(居宅介護支援事業)

ケアプランセンター「愛泉」は、ケアマネジャー3名体制で、基本的には24時間対応の業務運営となっています。

事業推進に当たっては、介護サービス利用者本人の希望や心身の状態、更に家族の意向も十分把握した上でケアプラン(居宅サービス計画)を作成し、介護サービス提供事業者との調整により、適切なサービスが利用できるよう努めるとともに、要介護者の自立支援の観点からサービス利用の相談、アドバイス等、在宅介護の拠点としての役割も積極的に取り組んできました。

また、包括支援センターから委託を受けた予防給付についても、利用者が最適な介護サービスを受けられるよう努めてきました。

平成31年3月末現在のケアプラン作成者数は、要支援者32名、要介護者数は107名の計139名となっています。

★介護度別ケアプラン作成者数(平成31年3月末現在) (単位:人)

介護度	要支援1	要支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
人数	4	18	42	42	19	11	3	139

★月別ケアプラン利用者数 (単位:人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護	122	120	122	118	117	117	117	120	123	117	115	117	1425
予防	15	18	16	16	17	19	19	20	20	20	22	22	224
計	137	138	138	134	134	136	136	140	143	137	137	139	1649

6 ヘルパーセンター「愛泉」(訪問介護事業)

ヘルパーセンター「愛泉」は、高齢者が健全で安らかな在宅生活を営むことができるよう援助を行ってきました。特に、その人の有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるような援助を基本とし、身体介護(入浴、排泄、食事介助、通院介助)及び家事援助(調理、買物、洗濯、清掃)の生活全般にわたる援助を行ってきました。

職員は、サービス提供責任者を含め、常勤職員2名と登録ヘルパー2名で活動しています。サービス提供者は生活支援と身体介護を合わせ月平均48名となっています。

また、1ヶ月当たりの利用回数を見ると、月平均では5.5回、平均利用時間は4.38時間となっています。

なお、6名の新規利用者がありましたが、施設入所、入院、死亡等により29名の方がサービスを中止しました。

★平成30年度利用状況

(単位：人)

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
実人数	54	55	54	52	49	49	46
延人数	294	303	281	277	274	255	251

月別	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	46	45	45	44	42	581
延人数	238	235	231	218	240	3,097

事務関係行事（平成30年4月～平成31年3月）

月 日	研修会等の名称	出席者等
4月23日	日光市介護サービス事業者連絡協議会	施設長
5月 7日	新規採用職員研修会	新規採用者（10名）
5月22日	とちぎケアマネ協議会総会、研修会	介護支援専門員（4名）
6月 3日	日光藤原地区防災訓練	施設長
5日	安全運転管理者講習会	施設長
15日	主任ケアマネ連絡会議	介護支援専門員
7月 2日	日光市社会福祉法人連絡協議会	施設長
3日	褥瘡対策研修	職員（18名）
19日	実地指導監査	従来型特養、通所、訪問
8月 3日	日光市ケアマネ協議会	介護支援専門員（3名）
29日	栃木県実地指導監査	
9月15日	秋祭り（敬老会）	
25日	日光市介護保険運営協議会	介護支援専門員（1名）
28日	入居者健康診断	
29日	社会福祉法人制度改革説明会	施設長
10月 4日	県立今市支援学校見学会	施設長
10月19日	外部講師・身体拘束研修	全職員
20日	介護レベルアップ研修・住環境の整備	全職員
11月 7日	日光市実地指導監査	居宅、地域特養
11月15日	介護人材キャリアパス研修・人権擁護	全職員
16日	アルパカ来苑	事務長・事務職員
20日	栃木県栄養士会福祉協議会研修会	管理栄養士
30日	介護レベルアップ研修・食事の介護	全職員
12月13日	医療的知識習得研修会	介護支援専門員（4名）
19日	栄養ケア研究会	管理栄養士
2月 1日	入所判定会議	入所判定委員会
27日	日光地区特養連絡協議会	施設長
3月 7日	入所判定会議	入所判定委員会
13日	平成30年度集団説明会～	施設長・関係職員
25日	日光市集団説明会	施設長・関係職員